小学校　１年　国語科

考える × 読む 書く

育成したい国語力
◇ 事柄の順序をとらえ、移り変わりを意識して読む。
◇ 気付いたこと、感じたことについて組み立てを考えて書き表す。

単元名

ちがいをかんがえてよもう「どうぶつの赤ちゃん」

単元の流れ

第１次（２）
・ライオンとしまうまの赤ちゃんのようすを予想する。
・範読を聞き、初発の感想を発表し合う。
・単元の見通しをもつ。

第２次（本時）（６）
・ライオンとしまうまの赤ちゃんの成長について本文の内容を読み取る。

第３次（３）
・いろいろな動物の赤ちゃんのようすを紹介し合う。

本時の目標

ライオンとしまうまの赤ちゃんのちがいを見付け、それについての自分の感想をもつ。（読む能力）

国語力育成の視点

本単元は、「説明されている事柄や筋などのおおよそを把握する」ことが大きなねらいになります。この読む能力を付けるために、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」を効果的に位置付けることが大切です。
「書くこと」では、ライオンとしまうまの赤ちゃんの成長の違いを書いて整理し、読み取ることで、考える力の育成につないでいくことができます。また、「話すこと・聞くこと」を活用して、友達の考えと自分の考えを比べて、読みを確かめることもできます。
第３次でも、第２次で学習した「比べる書き方」のよさを生かして、自分が調べた動物の赤ちゃんのことを本文のように書き直し、考える力を付けます。

本時の流れ

導入

○本時のめあてを確認する。

めあて：
ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんのちがいをみつけよう。

展開

○前時に作成したワークシート１を見ながら、ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんのことを比べられる項目があることに気付く。

○比べられる項目に基づいて、ライオンとしまうまの赤ちゃんのちがいを書いたり、話し合ったりして確かめる。

○ライオンとしまうまの赤ちゃんのちがいについて、感じたことや考えたことを書いて発表する。

まとめ

○本時で比べた項目を基に、他の動物の赤ちゃんの予想を立て、第３次への見通しをもつ。

視　点 ❷

自分が調べたい動物の情報を正確に読み取り、その情報を基に「動物図鑑」や「動物クイズ」などを作ります。
本文で学習した、順序や違いに着目した書き方、写真や絵を使った説明の仕方などを活用し「書いて表す力」を育成します。
伝えたいことをカードに書きとめ、そのメモを「説明する文章」に書いて表す手順も身に付けることができます。

ワークシート　①　（前時）

「どうぶつの赤ちゃん」ワークシート１

くみ　なまえ

ライオンの　赤ちゃんと　しまうまの　赤ちゃんの　生まれた　ばかりの　ようすを　かきましょう。

ライオンの　赤ちゃん　しまうまの　赤ちゃん

ライオンの　赤ちゃんと　しまうまの　赤ちゃんが　大きくなる　ようすを　かきましょう。

ライオンの　赤ちゃん　しまうまの　赤ちゃん

ワークシート　②　（本時）

「どうぶつの赤ちゃん」ワークシート２

くみ　なまえ

ライオンの　赤ちゃんと　しまうまの　赤ちゃんに　でてくる　おなじ　ことばを　さがして、くらべましょう。

おなじことば	ライオンの赤ちゃん	しまうまの赤ちゃん
大きさ	子ねこぐらい	やぎぐらい

ライオンの　赤ちゃんと　しまうまの　赤ちゃんの　ちがいを　たしかめて、かんじたことや　かんがえたことを　かきましょう。

視　点 ❶

ちがいを比べるには、比べることのできる同じ項目が必要です。どちらにも出てくる同じ言葉に着目し、ワークシートに整理させます。
友達とそのちがいを比べ合い、本文の叙述を基に確かめ合います。
比べたところで終わらずに、ライオンとしまうまの赤ちゃんのちがいについて、自分の考えを書いて確かめることが大切です。